

研究課題名：

下咽頭がんの治療後の嚥下性肺炎の発生状況を検討する後ろ向き研究（75歳以上）

1. 研究の対象

2000年1月から2020年3月までに当院にて下咽頭がんの治療を受けられた75歳以上（治療時）の方

2. 研究目的・方法

下咽頭がんの治療は嚥下機能に大きな負担をかけ、場合によっては嚥下性肺炎などを引き起こす原因になることもあります。また、高齢になると老化により嚥下機能が低下します。本研究は嚥下機能が低下している高齢者の方にたいし行った喉頭温存治療の肺炎に対するリスクをしる第一歩となるものです

ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、当院倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

この研究では患者さんのカルテの診療情報を利用させていただきます。利用させていただく診療情報は次のようなものです。

治療歴、肺炎の有無、がんのステージ等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：宮城県立がんセンター治験・臨床研究管理室 倫理審査委員会担当 寺島 貴之

〒981-1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47 の 1 TEL 022-384-3151(代表) (内線
974) 研究責任者: 宮城県立がんセンター頭頸部外科 医療部長浅田行紀